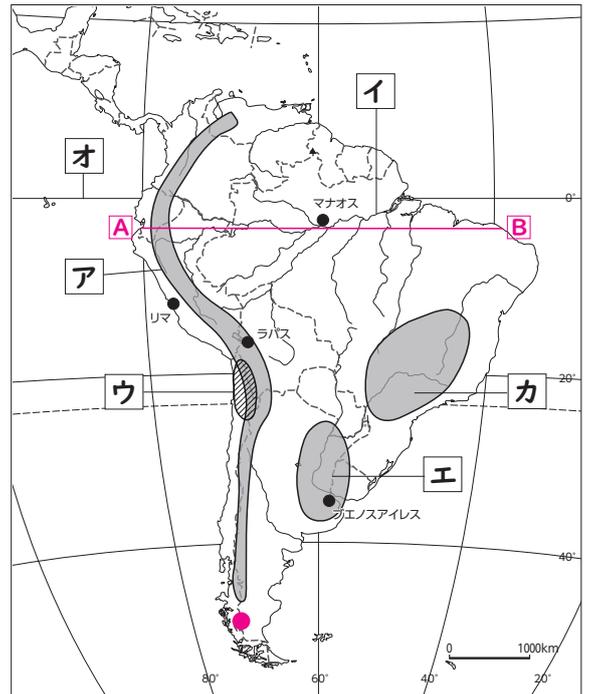


Ⅰ. 高地と低地が織りなす地形

(1) 図ⅠのA～カの名称を記入してみよう。

ア	アンデス	山脈
イ	アマゾン	川
ウ	アタカマ	砂漠
エ	パンパ	
オ	赤道	
カ	ブラジル	高原

図Ⅰ



(2) 資料Ⅱは、大型の貨物船が停泊しているマナオスの港です。マナオスの位置を確認し、この場所で大型船が航行できる理由を考えてみよう。

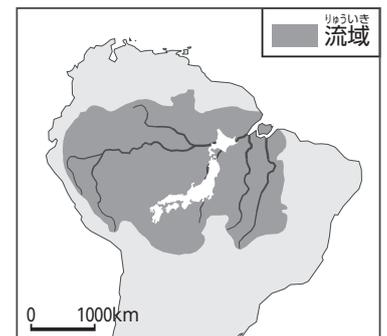
資料Ⅱ



(例) アマゾン川の川幅が広く、流れが緩やかだから。

(3) 資料Ⅲは、アマゾン川の流域面積と日本列島を比較したものです。アマゾン川の流域面積の広さについて、資料Ⅲや統計資料を活用して、説明してみよう。

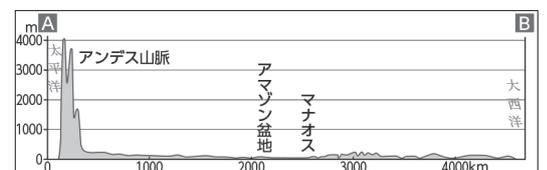
資料Ⅲ



(例) アマゾン川の流域面積は、日本の国土面積の約38万km<sup>2</sup>の18倍以上も広い705万km<sup>2</sup>で、世界最大の流域面積である。

(4) 資料Ⅳは、南アメリカ大陸の断面図です。

資料Ⅳ



① 資料ⅣのA～Bにあたる線を、図Ⅰに記入してみよう。

② 資料ⅣのA～B間の地形の特徴を説明してみよう。

(例) 太平洋側には標高の高いアンデス山脈がそびえているが、アンデス山脈の東側から大西洋側まで、平坦なアマゾン盆地が広がっている。

## 2. 緯度と標高で異なる気候

- (1) 資料Vの①～③は、図Iのマナオス、リマ、ブエノスアイレスのいずれかの雨温図です。マナオスの雨温図を選び、選んだ理由を説明してみよう。

選んだ番号 ①

選んだ理由

(例) マナオスは3都市の中で最も赤道に近いので、ほかの都市よりも年間を通じて高温で、降水量が多いと考えられるため。

- (2) 資料VIは、世界で最も標高が高い首都であるラパスの町並みです。このような標高の高い場所に首都がある理由を考えてみよう。

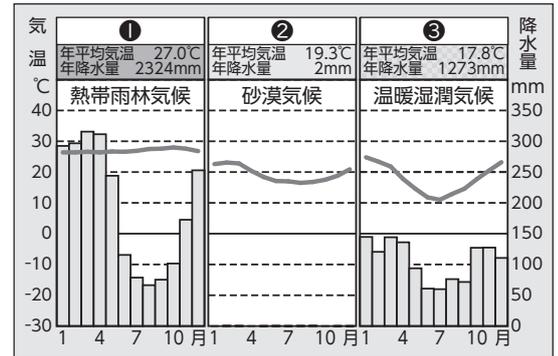
(例) 緯度が低い地域にあるので、標高が高い方が気温が低く、過ごしやすい気候になっているため。

- (3) 資料VIIは、豊かな草原が広がるアルゼンチンのパンパの様子です。この地域の気候の特色を説明してみよう。

(例) 温暖で四季がはっきりし、年間を通して降水がみられる温暖湿潤気候である。

- (4) 南アメリカ州にも氷河が見られる地域があります。資料VIIIを参考にし、図Iに、氷河が見られる地域を赤丸で示してみよう。

資料V



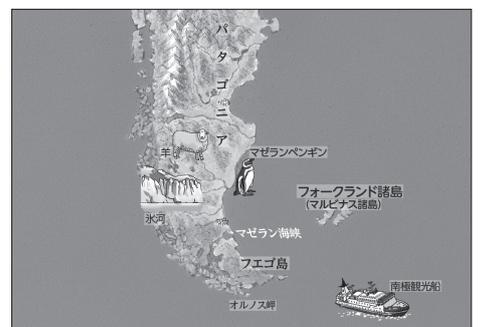
資料VI



資料VII



資料VIII



### 本時のまとめ

◆ 南アメリカ州の主な気候を二つ取り上げ、その分布と特色を説明しよう。

- (例) ① 赤道に近い地域には熱帯が広がり、一年を通じ気温が高く降水量も多い。  
 ② ペルーからチリ北部にかけての太平洋沿いの地域は乾燥していて、砂漠気候が広がっている。